

我がまち、我が自治会

小田急相模原駅を中心に拡がる
自治会 松南自治会

会長 黒川 康弘

松南自治会は、小田急相模原駅南口から東海大学付属相模中学校・高等学校辺りまでの松が枝町相南1丁目の一部及び相南4丁目相南の地域です。世帯数は約900世帯とさほど大きくはありませんが、商店が多く、保育園も老人ホームもあり、バラエティーに富んだ地域です。自治会の活動は、恒例行事として「公園の清掃」「焼きいも会」「餅つき大会」「ファミリアお花見会」と8月下旬に開催している最大のイベント「納涼盆おどり大会」です。この「納涼盆おどり大会」は、役員を中心に会員の方々との協力・共同の手作りのイベントで、住民の憩いの場である「松が枝公園」で開催することもあり、年々大変な賑わいとなっています。他にも、自治会館において生活の一助に定期的に「まちかど教養講座」を開催して、地域の方々に大変喜ばれています。また、相南交番と連絡を取り合い、夜間も安心して通行できるように防犯灯の増設、役員による防犯パトロール、警察官による深夜のパトロール等、安全・安心で住みよいまちを築くための活動をしています。

当自治会は1棟だけのマンションで95戸で構成されています。敷地の東側は相模原遊歩道に面し、南側は横浜水道みちに面しており道路は、居住者と配達車程度の交通量です。西側のみ、まちづくりセンターへ行き幸道路方面に面しています。エントランスを出ますと、目の前が散歩道です。中央区方面、大和市方面へ1時間でも2時間でも気楽にウォーキングに出かけられる立地環境です。さて自治会活動ですが、残念ながら当マンションには集会所がありませんので、東林公民館もしくは東林ふれあいセンターをお借りしています。両方とも徒歩5分程度です。年間行事としては、敷地内公園の清掃を年2回、避難訓練、敬老の日お祝い、年末年始に4日間の夜間パトロール等を実施しています。課題としては、他地域と同様、居住者の高齢化と一人暮らしの増加です。その対策の一つとして2年前に、各戸の玄関ドア上部に赤色ランプとアラームを取り付け火事以外の非常時にも対応、周囲が事故発生の部屋の特定が出来る様に周知を図りました。今後更なる対策と活動を続けて行くこととなります。

“緑が多く比較的静かな環境”
東林間コーポラスマンション自治会

会長 齋藤 良幸

相模原市で南の端に位置する
自治会 相和自治会

会長 戸崎 憲弘

当相和自治会は、相模原市の南の端に有り、南自治会、林間自治会、相模カンツリー倶楽部と大和市との市境道路に囲まれています。世帯数は350世帯で東林地区として6番目の世帯数です。相和自治会の名前の由来は相模原市と大和市の市境に面しており、相模原の「相」と大和の「和」から「相和」としたそうです。住民の大半の方は生活用品の買い物等は、東林間ではなく中央林間が主になっています。自治会活動としては、自治会内の清掃、餅つき大会、防災訓練を年2回東林みなみ公園で実施しています。自治会館を利用して、各種講習会、講演会等の開催、会員によるサークル活動、ボランティアによる高齢者を対象とした「いきいき相和さろん」・映画鑑賞等を毎月1回開催しております。広報活動は、年に10回前後会報として、自治会役員会の内容、自治会内の出来事、各種啓発記事、東林地区の各行事等を記載し発行しています。子ども会は廃品回収を月1回実施しており、親子異年齢の交流の場にもなっています。少子高齢化が進む中、暮らしの安心に、未永く暮らせる環境を目指していきたいと思えます。

編集後記

広報委員の皆様7月から3月までの9ヶ月間ご苦労さまでした。5月からは新しい委員にて運営されますが、自治連だより「とつりん」の創刊号と2号までの発行が出来た事は委員皆様のお陰と感謝申し上げます。これから広報部の発展を期待します。

(委員長 嘉松 皓)

地域情報紙「東林情報」に掲載依頼があった原稿が掲載基準に適合しているか審査・選考するのが当初の広報委員会に課せられた責務だと考えていました。が、市連ホームページへの更新が追加され、自治連だより「とつりん」の発行と責務が増えました。

(中澤 秀樹)

編集という分野に少なからず興味があり広報委員を受けました。が、感性のみにて未席に連なっています。あと少しの任期頑張ります。

(吉武 早苗)

昨年11月に54年ぶりの降雪で厳しい冬を想定、早々にダウンコート準備したが、未だに着用なし、他の地域では大変な状況の中で、関東近辺のみ暖冬でしょうか？

(齋藤 良幸)